

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁業情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 8
2017・3・17

1 ドイツ森林基金についてブリュッセルから緑の光 (2017・3・14)
ードイツの森林を通じてより多くの気象保護が可能ー

連邦政府は、気象保護のための森林と森林湿地の潜在力を、より強く用いるための政策を奨励する。そして気象変動に対する森林の適応も支援する。EU委員会、連邦環境省 (BMUB) と連邦食料・農業省 (BMEL) の両省が共同で担当している森林基金について、改訂した奨励指針を認可した。

両省の専門家は、基金投入の可能性と奨励上の重点について、ベルリンで3月14日と15日に協議した。森林基金のさらなる進展は、2016年12月に連邦政府が、2050年気象保護プランでもって決定されていた。連邦食料・農業局 (BLE) は、これまで127の部分プロジェクトを伴った44の連携パートナーと、基金プロジェクトの担い手と協力している。

連邦環境省の政務次官リータ シュバルツエーエは、気象保護のための森林湿地と森林現況の重要性を、会議の開催に際して強調した。”我々は森林の中にある、太古の炭素を内包している湿地を緊急に保持し、そして保護しなければならない。これは、我々の気象保護政策のためにも、生物多様性のためにも、非常に重要な柱である”と、彼は述べた。

ドイツ連邦食料・農業局長 Dr.アクセル ハイダーは、気象保護のための持続的な木材利用の重要性を強調した。”森林と木材からの気象保護への貢献の半分以上が、今日木材生産の利用と経営で保持されている。気象保護は、ドイツにおける林業の統合的な構成要因である。森林基金一会議でプロジェクトから、政策形成上の価値多い示唆を与えるところの、最初の成果が提出された。

その上、科学者たちが基金の将来的な課題と展望を、5つの奨励重点に沿って議論した。テーマは、特に森林での気象変動の影響、森林の適応対策の戦略そして森林管理並びに木材生産、森林のCO-2固定の増加と確保である。その際、著名人の支援は気象研究者と、国連環境計画（UNEP）のかつての部長クラス テプファイアー等から得ている。

2 ヨーロッパのモーターとしてドイツとフランスの友好関係（2017・3・14）

フランスの農業大臣が、ドイツ連邦食料・農業大臣シュミットに、3月6日にフランスの農業功労賞を授与した。同時に、フランス農業大臣 Stephane Le Foll は、ヨーロッパレベルでの農業者の利害について、シュミットの努力を認めた。この表彰に関連して、ドイツの農業大臣が説明した：“フランス農業大臣の高位の地位でもっての表彰は、大きな人的榮譽を私のために下された。”

このため、私は同僚大臣の Le Foll に感謝した。この表彰は、フランスとの卓越した共同活動に関連している。つまり、人的そして専門レベルにおいて。我々は、過去において共同で両国の農業のための成果に、努力している。我々の国は、ドイツーフランスの堅い友好で結ばれている。我々は、より強いドイツーフランスの友好でもって、成果多いヨーロッパのモーターとして存在している。

背景：

フランスの農業功労勲章は、1883年当時の農業大臣 Jules Meline が創設した。それ以来、農林漁業の分野での功労者の褒章のために、その時の農業大臣が授与してきた。

3 公募：動物実験の代替方法のために報償を（2017・3・17）

— 25,000 ユーロ（約 300 万円）の賞金 —

連邦食料・農業省は、第 36 回動物保護一研究賞を募集している。求めているのは、動物実験を代替すること、またはその回数を減少することに貢献する研究活動である。この目的は、決して欠くことのできない規準での、動物実験を制限するために、そして実験動物のために可能な限りの保護を、保証することであると、連邦大臣シュミットが強調した。

この動物保護は、連邦政府の重要な関心事である。連邦政府は、動物実験の代わりに方法を普及する、重要な貢献を果たす。科学目的のために使用する動物の数を減らすための連邦政府の参画は、連邦省イニシアチブ「飼育の問題—動物の福祉のための新しい方法」の一部である。連邦食料・農業省は、動物保護研究賞でもって実験動物のための、代替—投入方法の研究と普及をさらに推進する：動物実験は、基本的に代替えの方法が使用できない場合のみ、実施される。指針は、いわゆる「3R—原則」である。

つまり、動物実験は可能な限り代替えの方法をとること（Replacement）、または動物実験を減らすこと（Reduction）、動物に対する実験は、痛みと苦しみを可能な限り改良すること（Refinement）である。科学的活動と並んで動物実験を減少させ、そして他の方法に替えるための研究を提起する。これは、動物実験のための飼育条件の改善にも貢献する。

この賞は 1980 年以來、25,000 ユーロの賞金を供与している。この賞金の授与は、5 つの科学専門家からなる中立の審査委員会によって審査される。動物保護—研究賞の公募は、まず第一に若手科学者に焦点をあてる。公募期限は、2017 年 5 月 31 日である。

2017・3・19 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
